

～ テーラーメイドペプチドワクチン臨床試験への新規受付終了のお知らせ ～

前立腺がん患者を対象に製薬会社が実施した、がんペプチドワクチン ITK-1 の第Ⅲ相治験において統計学的に有意な改善効果が認められなかったとの結果が、5月17日に公開されました。その結果を受け、現在、当センターにて実施中のすべてのテーラーメイドペプチドワクチンの臨床試験への新規受付は2018年7月31日をもって終了させていただきます。

尚、2018年8月1日の時点で既に当センターのテーラーメイドペプチドワクチンの臨床試験に受付されておられる方々やワクチン投与の継続を希望される患者さんには、これまでと同様にワクチンを投与させていただく予定です。

2009年に上記の臨床試験を開始させていただき、2000名を超える患者さんに参加していただきました。おかげ様でテーラーメイドペプチドワクチンの安全性、免疫誘導能、及び免疫誘導能と臨床効果の関連性について、多くの新しい成績を得ることが出来ました。ご参加いただきました患者さんおよびご家族には改めて心よりお礼申し上げます。

このような貴重な成績につきましては、今後も学会、市民公開講座や論文での発表、ホームページでの情報提供を続けてまいります。

今後も、がんペプチドワクチン実用化に向けた基礎及び臨床研究を継続していく所存ですので、ご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

2018年6月1日

久留米大学 がんワクチンセンター 所長
伊東 恭悟